

ミニ盆栽とは 小品盆栽とも呼ばれております。樹高20cm以下の盆栽を言います。  
人により好みの樹高はまちまちです。あまり厳密に考えずに、小さな盆栽と考えてください。

盆栽の見方： 大きさに関係なく、盆栽の見方にはいくつかのポイントがあります。

- ・形小相大(けいしょうそうだい)： 大きな木に見えるのに、実際のサイズは小さい。盆栽の理想です。
- ・樹形： 基本系は、



模様木(もようぎ)



直幹(ちよつかん)



懸崖(けんがい)



株立(かぶだち)

- ・枝： 幹に対して、違和感のない枝。細い幹に対して太い枝では、大木感は出ません。幹の模様に合わせて枝表現も重要。

- ・コケ順： 幹がだんだんと細くなる様子。同じ太さの幹が続いては、大木感は出ません。

- ・根張り： 幹からつながる根の部分が、富士山のように、全方向に広がっているものが良い。

\* 樹種によりコケ順や根張りができにくいものや、懸崖樹形では根張りは重要視されません。



席飾りの見方： 小さな盆栽を、何本か組み合わせて席飾りとします。

- ・樹種(常緑/落葉/実物/花物)、樹形、鉢の形、鉢の色、樹の流れが重なりなく、全体として調和がとれていること。

- ・季節感や物語性があること。(盆栽に添える草、石、短冊などにも目して見てください。)



ここまでは、基本としての面倒な話ですが、季節感や、かわいらしさなど、各自が気に入ればなんでもOKと言えます。ぜひ、自分の好きな盆栽や席飾りを探してみてください。

## ミニ盆栽の育て方

### ■屋外で育てる

片手に載るかわいらしい鉢植えとはいえ屋内では育ちません。庭かベランダで育てます。落葉樹の一年をふりかえてみましょう。春、枝についた小さな冬芽がふくらんで緑色の葉が展開します。そして見る見る伸びて葉を繁らせます。若葉が深緑となり秋に落葉。冬は梢のみの裸樹です。この葉がある期間(春～秋)は生長期で日光が必要です。

### ■豊富な樹種

ミニ盆栽として育てられているものは約三百種以上あります。

樹種の分け方 大きく分けると松柏、雑木、花物、実物です。

松柏はクロマツ、アカマツ、ゴヨウマツ、シンパク、イチイ、トショウ、ヒノキなど。

雑木はトウカエデ、ヤマモミジ、ケヤキ、ブナ、アカシデ、クマシデ、ハゼ、ツタなど。

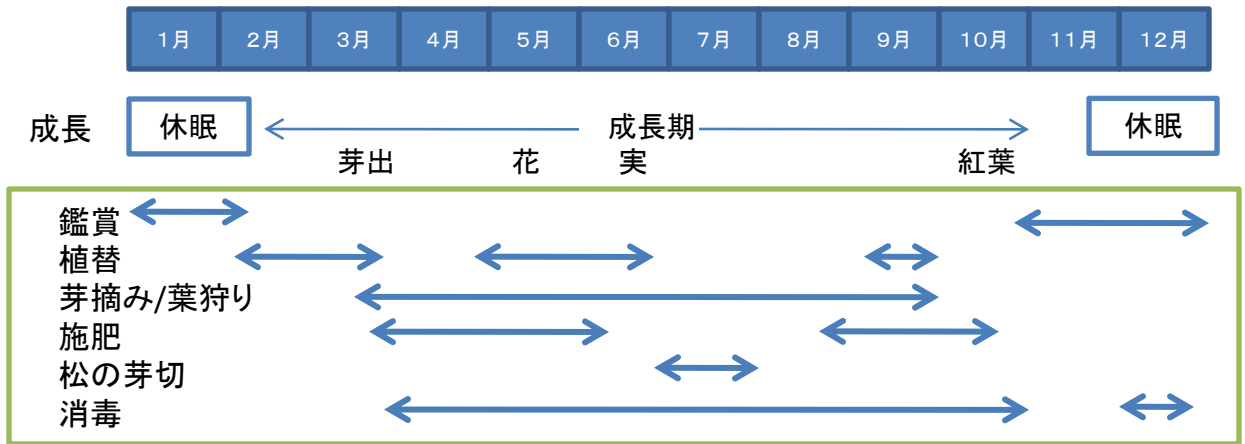
花物はウメ、ボケ、サツキ、ツツジ、サクラ、ハナカイドウ、サルスベリ、フジ、ネム、ツバキ、トサミズキなど。

実物はウメドキ、ヒメリンゴ、ミカイドウ、ピラカンサ、カリン、マユミ、カキ、ムラサキシキブ、アケビなど。

ヒメゴやミカイドウ、クチナシ、ピラカンサなどは春～初夏の花、そして秋の実が一本の木で楽しめます。

片手に乗る小さな鉢でも移りゆく四季の風情を感じさせてくれます。

### ■盆栽の成長と作業の年間サイクル



### 盆栽会へのお誘い

「仕事が忙しい」などの理由で先伸ばしし、盆栽を始めるチャンスを逃がしてしまう方が多く残念です。

盆栽は普通の鉢植えとは異なり、小さな鉢で何年も持ち込む面白さにあります。

難しそうと思われがちですが、小さな鉢が根の伸長をおさえるために極端には大きくなりません。

長く持てば持つほど根の張り具合や幹肌、花や実など味わい深くなります。

狭いスペースでも楽しめます、素材が安い、実生や挿し木でもすぐに楽しめる、鉢合わせもたのしい。

日本では年寄りの趣味と思われていますが、外国では生きているアートとして、若い人の趣味として人気があります。この機会に、ミニ盆栽を始めてみませんか？

私たち駿府小品盆栽会は、会員10名で活動しています。

毎月最終土曜日の午前中に月例会を行っています。

(各自が樹を持ち寄って、相談しながら手入れをしたり、静岡市周辺のベテラン趣味家へ見学に行ったり、他の盆栽会の展示会に行ったり、数年に1度は他県へ見学旅行にも行きます。)

興味のある方は、お気軽にどうぞ。

〒420-0816 静岡市葵区沓谷1-25-22-106 高梨 益樹

電話：090-9925-9076 Mail: takanashi.m@nifty.com